

ごとう通信

第 53 号

平成 17 年 5 月 1 日

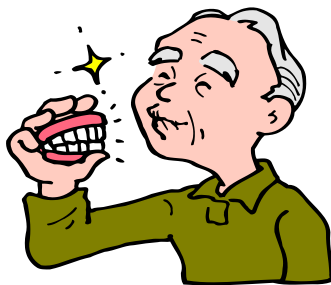
先日、すでに「夏日」を記録したところがあるようで・・・昨夏の厳しい暑さがトラウマのように残る僕としてはあまり喜ばしいニュースではありません。今から夏のことを恐れることはないでしょうが、ひどい夏でしたものね。今年は「冷夏」と呼ばれる一歩手前ぐらいの涼しさを期待しています。

さて、この「ごとう通信」でも何度か取り上げましたが、僕がパーソナリティーを務めるラジオ番組「ドクターごとうの熱血訪問クリニック」が四月から6局7県*で聞けることになりました。とは言え、未だ首都圏から遠く。

番組にはいろいろなお手紙が来る

のですが、そのほとんどは入れ歯に関するものです。決して入れ歯だけの話だけしているわけではないのですが。ラジオを聴く層と入れ歯世代が重なるというところもありますが、「皆さん入れ歯で苦労してるんだなあ」という感想を持たざるを得ません。

僕にとっても入れ歯はまだまだ発展途上、ゴールの位置が分からないので自分が何合目にいるのかすら分からない状態です。それくらい難しいものなんです。イチローやマツイが3割、4割ですごいと言われるのが少しうらやましかったり・・・



入れ歯を上手く
なるには、一にも
二にも「お口の中
が訴えていること
を正しく認識する」
ということです。

そのためには皆さんの感想や意見が大変重要な手がかりになります。「こんなことを言ったら失礼かな？」とか、「もついいや！」などと思わずに素直な声を聞かせていただければと思っています。よろしくお付き合いください！

*山口・新潟・岐阜・秋田・香川・岡山・福井

セミナーの話

今年は「介護予防」ということをキーワードに僕のようなものにもいくつか講演会の依頼がありました。その一つに「誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアと腸管免疫の重要性」というセミナーがあります。看護職、介護職を対象にしたものですが、東大名誉教授（！）の免疫の先生と、この分野では大変有名な看護師さ